

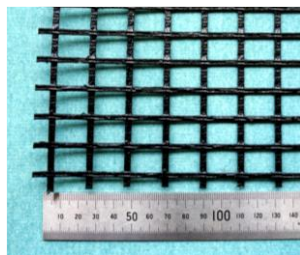
長スパン用 補強盛土一体橋梁が実用化されました

ー九州新幹線(武雄温泉・長崎間), 原種架道橋



GRS一体橋梁は、橋桁と耐震性の高い補強土橋台を一体化した橋梁です。補強土橋台は、兵庫県南部地震の被災経験から耐震性を高めた橋台であり、機構では2004年以降、整備新幹線に標準的に適用しています。

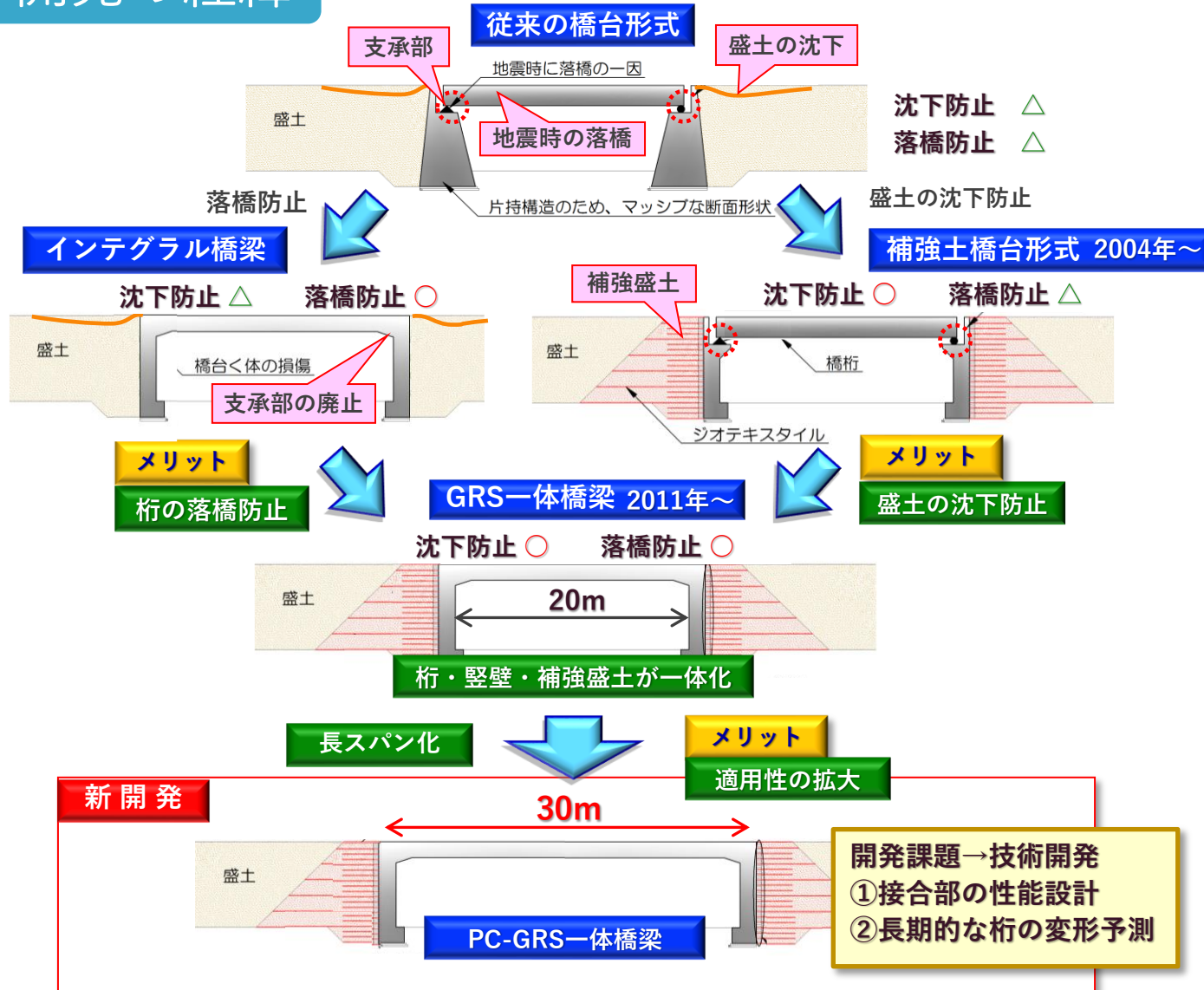
PC構造の適用には、プレストレスによる桁の長期にわたる収縮と桁の温度変化に伴う伸縮変形を把握した設計が必要であり、機構は技術開発を重ねて今回の実用化に至りました。



- ① 中学校線Bv ② ハイペ沢B ③ 原種Bv

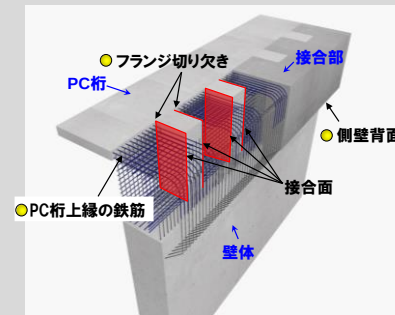
GRS一体橋梁の開発と取組み

3. 開発の経緯



4. 長スパン化の技術開発

- ①接合構造の解析・実験
- ・桁と橋台壁の接合法を確立



- ②長期的な変形の推定 (実測と解析)

- ・PC桁の温度伸縮
- ・PC桁のそりとたわみの傾向把握

